

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期御代田町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

長野県北佐久郡御代田町

3 地域再生計画の区域

長野県北佐久郡御代田町の全域

4 地域再生計画の目標

(人口)

本町の人口は、昭和35年以降増加傾向が継続しており、昭和30年代以降に誘致した製造業が堅調に成長を遂げていること、豊かな自然環境や交通の利便性、子育てや暮らしやすさといった強みにより、幅広い年齢層の転入者が多いことが大きな要因であると考えられる。令和6年度の社会動態は、転入者(1,317人)が転出者(998人)を上回る社会増(319人)であった。

しかし、全国と同様に少子高齢化の傾向にあり、自然動態をみると、出生数は平成19年度(131人)から減少に転じ、令和6年には95人となっている。その一方で、死亡数は令和6年には185人と増加の一途をたどっており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は90人(自然減)となっている。

最新の国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、令和2年国勢調査で15,555人であった本町の人口は、令和12年度をピークに減少に転じる見込みである。今後、人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な影響が懸念されるため、人口減少を見据えた持続可能なまちづくりが求められている。

(産業)

本町の産業は、精密機器や食品加工などの大規模な工場を構える企業が立地し、佐久地域の中でも有数の工業基盤を持っている。また、高原野菜を主とする農業も

当町の特色といえる。しかし、近年、工業従業者数及び事業所数も伸び悩んでおり、農業に関しては、農家数の減少やそれに伴う農業産出額の減少などが深刻な状況になっている。

これらの課題に対応するため、町民の出産・子育ての希望の実現を図り、出生数を維持する。また、当町の魅力を高め発信する取り組みにより移住を促進するとともに、安定した雇用の創出や暮らしやすい地域づくりを通じて、社会増を継続する。なお、これらに取組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- ・基本目標 1 新技術の活用による産業振興と安定雇用の創出
- ・基本目標 2 新しいひとの流れの創出と故郷への想いの醸成
- ・基本目標 3 若い世代の出産・子育ての希望をかなえる
- ・基本目標 4 人と自然が共生し、安心して快適なまちをつくる

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	創業者数 (直近5年間累計)	28人	30人	基本目標 1
イ	人口の社会増 (直近5年間累計)	1,443人	1,443人	基本目標 2
ウ	出生数	95人	95人	基本目標 3
エ	二酸化炭素排出量削減率 (平成25年度比)	-	43.9%	基本目標 4
エ	自主防災組織数	9区	18区	基本目標 4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期御代田町まち・ひと・しごと創生推進計画事業

- ア 新技術の活用による産業振興と安定雇用の創出事業
- イ 新しいひとの流れの創出と故郷への想いを醸成する事業
- ウ 若い世代の出産・子育ての希望をかなえる事業
- エ 人と自然が共生し、安心して快適なまちをつくる事業

② 事業の内容

ア 新技術の活用による産業振興と安定雇用の創出事業

既存企業との連携やデジタル化を推進するとともに、地域資源の活用や新しい働き方の導入等、様々な分野に魅力ある仕事の間を創出する事業

【具体的な事業】

- ・商工業振興補助事業
- ・スマート農業・デジタル活用支援事業
- ・創業支援・人材育成事業 等

イ 新しいひとの流れの創出と故郷への想いを醸成する事業

観光や地域活動を通じた町の魅力発信と、移住希望者との接点づくり、地域活性化、関係人口の育成から移住・定住促進等、地方への新しいひとの流れをつくる事業

【具体的な事業】

- ・御代田町魅力発信事業
- ・駅周辺にぎわい広場整備事業
- ・地域活性化拠点整備事業 等

ウ 若い世代の出産・子育ての希望をかなえる事業

保育施設や学童保育の拡充による働く世代への支援と、妊娠期から出産、子育てまでの切れ目のない支援、ICT 教育や探究学習の充実等、若い世代の出産・子育ての希望を叶えることに資する事業

【具体的な事業】

- ・ こどもの居場所設置事業
- ・ 子育て支援拠点（児童館等）の機能強化事業
- ・ ICT活用事業 等

エ 人と自然が共生し、安心して快適なまちをつくる事業

再生可能エネルギーの導入や省エネ改修による環境負荷の低減、災害に強いインフラ整備や公共交通の整備等、安心して快適なまちづくりを進める事業

【具体的な事業】

- ・ EV・次世代モビリティ導入支援事業
- ・ 地域防災力強化事業
- ・ 御代田駅周辺整備事業 等

※なお、詳細は第3期御代田町総合戦略のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

2,000,000千円（令和8年度～令和12年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度1月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本町公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで

6 計画期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで